

主な事業を紹介

平成 30 年度に、どんな事業にどれくらいの予算を使うのか、新規・拡充事業の一部を紹介します。なお、ここで紹介している事業以外の事業内容については「平成 30 年度予算の概要」に掲載しており、市ホームページおよび市情報公開コーナー（市役所 2 階）で閲覧できます。

「骨格予算」に計上していない政策的経費や新規事業は、補正予算により対応することとしています。

■問い合わせ先 財務政策課（☎ 35・1110）



「拡充」 3 歳児健康診査

予算額 650 万 1,000 円

3 歳児を対象とする総合的な健康診査を実施し、発達の遅れや疾病に対する、適切な支援に努めるとともに、栄養、生活習慣、予防接種その他育児に関する指導を実施します。

【拡充内容】発達の遅れを早期に発見するため、詳細な発達検査を新たに実施



「新規」 20・30 代健診

予算額 195 万 3,000 円

20～39 歳の職場等で生活習慣病に関する健康診査を受ける機会がない市民を対象に、生活習慣病発症予防・重症化予防を図ることを目的に健診（血液検査を含む）および保健指導を実施します。



「拡充」 健康診査事業

予算額 2 億 9,878 万 2,000 円

集団方式および個別方式による健（検）診を実施します。

【拡充内容】胃内視鏡検査の実施、肝炎ウィルス検診の対象拡大



「拡充」 がん検診受診率向上強化対策事業

予算額 359 万 2,000 円

死亡原因第 1 位のがんの死亡率を減少させるため、がん検診の受診勧奨と受診環境の整備をすすめ、受診率向上を目指し、がんの早期発見、早期治療につなげます。

【拡充内容】集団検診申し込みに Web 予約サービスを導入、集団検診の受診場所および日数の増加



「拡充」 ひろさき健幸増進リーダー活動支援事業

予算額 668 万 2,000 円

市民の健康増進を図るため、健康づくりの実践の場である運動教室や健康講座等でのひろさき健幸増進リーダーの活動を支援します。

【拡充内容】健康運動指導士によるリーダースキル向上対策等を実施



「拡充」 弘前自立支援介護推進事業

予算額 3,760 万 1,000 円

高齢者の尊厳ある自立した生活の実現に向けて、要介護度の改善や介護予防の取り組みを実施します。

【拡充内容】自立支援介護およびパワーリハビリテーションの人材育成に取り組む団体の活動経費への補助の開始

「拡充」 英語教育推進事業

予算額 7,449 万円

国で示した方針（小学校外国語活動の 3・4 年生からの実施や 5・6 年生での教科化、中学校英語授業を英語で実施等）にスムーズに対応するための研究、各学校への ALT 派遣、英語キャンプ等を実施します。

【拡充内容】ALT を 14 人から 16 人へ増員



「拡充」 中学校通級指導教室

予算額 498 万 4,000 円

通級指導を受ける生徒の増加への対応および市西部から通う生徒の通級にかかる距離の負担を軽減します。

【拡充内容】東中学校に加え、津軽中学校にも通級指導教室を開設

「拡充」 小・中学校校舎等維持改修事業

予算額 1 億 4,242 万 8,000 円

学習環境の維持・改善のため、老朽化した施設設備の改修および更新を実施します。

【拡充内容】老朽化が進む学校施設の改修予算を増額

「新規」 小・中学校冷房設備設置事業

予算額 3,599 万 7,000 円

熱中症による児童・生徒等の体調悪化を防ぐため、保健室に冷房設備を整備します。

「拡充」 東京オリンピック・パラリンピック 合宿誘致を契機としたレガシー創出事業

予算額 1,775 万 8,000 円

当市からのトップアスリート輩出や障がい者との共生社会実現を目指しながら、東京オリンピック・パラリンピックへの出場を目指している海外チームや日本代表チームの合宿を実施します。

【拡充内容】ブラジル視覚障がい者柔道チーム等の合宿を実施



「新規」 旧第五十九銀行本店本館整備事業

予算額 5,344 万 3,000 円

明治 37 年建築で、昭和 47 年に国の重要文化財指定を受けた、弘前を代表する明治の建築・旧第五十九銀行本店本館（青森銀行記念館）を、さらなる保存と活用のために整備します。



「拡充」 日本で最も美しい村づくり推進事業

予算額 313 万 2,000 円

岩木地区の地域資源や景観を保護・活用し、「日本で最も美しい村・岩木」の価値の維持・向上に向けた取り組みや情報発信を実施します。

【拡充内容】岩木の漬物伝承等の地域資源活用事業を実施

